

# 各県だより

このコーナーでは、各都府県方面組合から寄せられた、全国の組合、ホール等による各種の社会貢献・寄付活動を毎月紹介しています。

## 各都府県方面組合による社会貢献活動

### 顕彰／表彰／感謝状授与

#### 大阪

全国社会福祉協議会全国社会就労センター協議会から感謝状授与

大阪府遊技業協同組合(平川容志理事長)は、2019年3月19日(火)、全国社会福祉協議会全国社会就労センター協議会から、感謝状が授与された。

大遊協では、1998年から、府下の障がい者施設・作業所で製造されるクッキーなどの「セल्प商品」を発売・購入し、組合員ホールで賞品提供しており、この取組による障がい



者の社会就労への貢献が評価された。

### 寄付／寄贈

#### 青森

県交通安全母の会連合会に寄付

青森県遊技業協同組合(若林浩司理事長)は、2019年3月1日(金)、青森県交通安全母の会連合会に対し寄付を行った。寄付に対し、同連合会会長から感謝状が授与された。

同県遊協は、2014年から毎年同連合会に寄付を行っている。



#### 鹿児島

『愛の募金箱』により交通遺児を支援

鹿児島県遊技業協同組合(山室克己理事長)は、2019年2月7日(木)、組合員ホールに設置し

た「愛の募金箱」に寄せられた、遊技客やホール経営者やホールスタッフ等からの善意をもとに、交通遺児の支援を目的に鹿児島県交通被災者たすけあい協会に寄付を行った。

鹿児島県内の高校生以下の交通遺児は、現在、77世帯122人の上っており、寄付金は小学校入学時のランドセルのプレゼント、育英奨学金、卒業祝い金等、交通遺児の支援のために有効に活用される。

同県遊協は、2011年から交通遺児支援の取組を続けている。



不登校ひきこもり支援活動団体に寄付

同県遊協は、2019年2月7日(水)、県内で不登校やひきこもり支援活動を展開している特定非

営利活動法人「かごしま不登校ひきこもり支援ひまわり」に寄付を行った。

同団体は、教育委員会等による公的支援の枠外にある義務教育期間(小・中学生)を終えた高校生のほか、ひきこもり状態にある若者、その家族等の支援を目的に設立され、面談、カウンセリング、学習指導、交流訓練、登校支援、社会参加支援等の支援事業を行っている。



## 支部組合／ホールによる社会貢献活動

### イベントの開催

#### 岩手

青年部会が「第8回地産・地消フェア」を実施し益金等を寄付

岩手県遊技業協同組合傘下の一関地区遊技場組合青年部会(森信尊部会長)は、地元の福祉向上

を目的に「第8回地産・地消フェア」を開催し、2018年12月5日(水)、益金の一部を一関市社会福祉協議会に歳末助け合い募金として寄付した。

同組合青年部会は、2010年にファンへの感謝と地域との共生を目指して「パチンコ・パチスロ地産地消フェア」をはじめ開催し、翌2011年から東日本大震災被災地支援等を目的とした「被災地復興応援フェア」、「岩手復興応援フェア」などと名称を変えて連続して開催してきたものである。

第8回目のフェアは、2018年3月17日、18日の2日間として賞品に一関地方の特産品を提供する「地産・地消フェア」として開催し、同組合傘下全12ホールが参加した。

## 寄付／寄贈

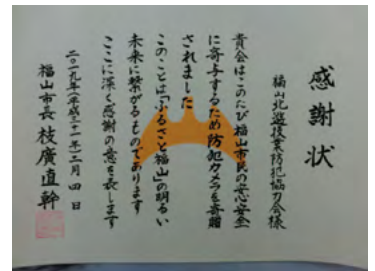
### 広島

#### 福山市に防犯ビデオカメラを寄贈

広島県遊技業協同組合傘下の福山北遊技業防犯協力会(新井慶助支部長)は、2019年2月4日(月)、福山市が推進している「安心安全まちづくり」事業支援の一

環として、同市に防犯ビデオカメラ一式を寄贈した。

寄贈に対し、福山市長から感謝状が授与された。



### ■訂正とお詫び

本誌3月号12ページ「各県だより」内、広島県遊技業協同組合連合会の記事の表題が「広島県警本部から感謝状授与」と掲載されておりましたが、正しくは「県内8カ所の児童養護施設に児童書を寄贈」です。関係各位に深くお詫び申し上げますとともに、ここに訂正をさせていただきます。

### 各県トピックス

## 大分県遊技協が大分県警察本部と「犯罪の起きにくい社会づくりに関する協定」を締結

大分県遊技業協同組合(力武一郎理事長)は、2019年2月28日(木)、大分県警察本部との「犯罪の起きにくい社会づくりに関する協定」を締結した。同日調印式が行われ、同県遊技協力武理事長と大分県警察本部生活安全部長との間で協定書が手交された。

協定に基づき、同県遊技協は、最近巧妙化している特殊詐欺、子ども車内放置による事故防止、強盗事件防止等、大分県における犯罪の抑止と地域の安全確保に貢献し、犯罪のない社会づくりの実現を目指し、組合員ホールとともに、

●日常業務を通じて把握した事件・事故・不審者に関する情報及び犯罪の予兆的な情報の通報並びに大分県警からの情報提供等各種依頼に対する積極的な協力

●営業所(ホール)内外での事件・事故及び駐車場における子ども車内放置事案等の未然防止のための防犯環境の整備、巡回及び広報啓発活動

●防犯ポスターの掲示及び営業所の電光掲示板を活用した特殊詐欺をはじめとする各種犯罪被害防止のための広報啓発活動

●地域安全活動及び防犯ボランティア団体に対する支援

●その他犯罪の起きにくい社会づくりの実現に資する自主的活動

を実施し、県警本部は県遊技協の活動に対し必要な情報提供を行うもので、協定締結に際し、組合員ホールからも積極的な賛同を得ている。

同県遊技協力武理事長は、調印式において、「最近巧妙化した特殊詐欺に有効な録音機能付き電話の寄贈、幼児の車内放置による事故の防止、昨年発生したホール周辺施設における強盗事件の教訓に基づく防犯カメラの設置等に取り組み、地域の安全に貢献できるような努めていきたい。」と挨拶した。



神奈川県遊協の「振り込め詐欺」撲滅緊急対策支援に対し神奈川県警察が感謝状授与

神奈川県遊技場協同組合（伊坂重憲理事長）は、2019年3月6日（水）、県内の振り込め詐欺撲滅緊急対策を支援したことに対し、神奈川県警察本部から感謝状が授与された。

神奈川県においては、2017年中の振り込め詐欺の被害総額が過去最高の57億円を超えており、それを受け神奈川県及び神奈川県警察が、神奈川県防犯協会連合会と連携し、被害防止の注意喚起を目的としたポスターや啓発グッズを制作した。

同県遊協は2018年8月13日、神奈川県に対し、県防連を通じ、グッズ制作費用を支援した。



リカバリーサポート・ネットワーク第19回理事会を開催

ばちんこ依存問題相談機関認定特定非営利活動法人リカバリーサポート・ネットワーク（RSN、西村直之代表理事）は、2019年4月4日（木）13時30分から、東京・遊技会館で第19回理事会を開催した。西村直之代表理事、大野春光理事（全日遊連副理事長）、松尾道彦監事（全日遊連副理事長）をはじめ理事7名、監事2名が出席した。

■決議事項

第1号議案 役員業務対価に関する件

西村代表理事の業務対価増額について提案理由説明があり、協議の結果承認された。

■協議・報告事項

●2018年度活動概要の報告（中間報告）

・RSNの電話相談は2018年10月より、RSN沖繩事務所まで一本化し相談電話の受付時間を22時まで延ばし、夜間対応の時間延長に伴い相談員を増員し、現在の相

談体制は、出向・研修者を含めると7名（常勤2名、非常勤3名、出向・研修2名）である。

・2017年5月より開始したパチンコ・パチスロ産業21世紀会による出向・研修制度は、今年5月満了の出向者を最後に終了となる。5月以降については21世紀会を窓口として個社からの長期の出向受入れを念頭に調整している。

あった。

●依存問題予防啓発リーフレットの件

西村代表理事から、RSNでパチンコホール用（パチンコ・パチスロユーザー向け）「ばちんこ依存問題予防・啓発リーフレット」（6種類1セット）を制作・監修し、3月よりインターネット販売を開始した、との報告があった。

●その他

西村代表理事から、電話相談時間について、21時30分に電話相談の受付を終了し、22時に相談業務を終了する体制に移行し、次回印刷分の告知ポスターからその旨を表示することとした。

このほか、支援連携事業、対面相談会事業、家族個別相談事業活動、遊技業界からの出向・研修事業活動について報告があり、意見交換を行った。

なお、『2018年ばちんこ依存問題電話相談事業報告書』は5月上旬配付予定である、との報告があった。



RSN第19回理事会の様相（4月4日）

